

あうんだより

デイサービスセンターあうん広報 / 令和5年4月

相談員 杉澤 琴美

新年度がスタートいたしました！空に向かって上へ上へと伸びていく草木のように、あうんは今年度も益々成長してまいります！！
今号では、3月の活動の様子をご紹介します。

ば映える ひなまつり



3月3日は桃の節句でした。現代では女の子の健やかな成長を祈願するひなまつりとして親しまれていますが、古くは江戸幕府が公式行事として制定した五節句のひとつ、「上巳の節句」とされています。

このとっても格式高いお節句にあうんが目指したのは、**インスタ映えするひなまつり!!** 数年前から若者の間で流行しているインスタ映えを目指し、誰もが目を引くような写真を撮って楽しんじゃおう！という企画でした。

用意したのはお内裏様の特大顔出しパネルと金屏風。手作りです。職員がパネルから顔を出して登場すると、皆さん何事かと思わず笑ってしまいます。

「笑っているけど、これから皆さんがこれをやるんですよ～」と写真撮影スタート。照れながらも顔を出してくれる素敵な皆さん。惜しみない100%の笑顔で写真に納まってくれました。また、他の利用者さんが撮影する様子を見ている方々の楽しそうなこと！「かわいい～」「似合う～」と歓声も上がります。

ひととおり撮り終えて、桜餅と煎茶で一休み。その間に写真を現像してきて皆さん一緒に鑑賞しました。

初めての映える体験、いかがだったでしょうか？私たち職員としては、利用者さんたちの笑顔が私たちのエネルギーになることを実感したひとときでした。



ひなまつりの食事といえば…



この日の昼食はやはり、ちらし寿司！！具だくさんの酢飯に彩りがきれいなちらし寿司は心が浮き立ちますね。もちろんここにも、あうん産のかんぴょうがたっぷり入っていましたよ。



ちらし寿司、はまぐりのお吸い物
甘酒、煮物

日々の食卓より



今回は3時のおやつのご紹介。

3月21日の春分の日、お彼岸の中日ということで、ぼたもちづくりをしました。利用者さんが手作りするならこしあんにするとのことでしたが、そこまでの手間をかけるのはなかなか大変なもの。今回は炊飯器でやわらかく炊いたもち米を半ごろし（すごい表現！）にして、圧力鍋で煮たつぶあんで包む簡単な作り方です。この日の利用者さんは皆さん女性で、ぼたもちづくりはお手のもの。「昔は近所に配ったりするので山ほど作らされたなあ。本家の嫁は大変よ…」なんてお話を伺っているうちにあっという間に完成しました。手作りぼたもちはとても楽しくておいしい仕上がりででした。利用者さんも今では作ることはほとんどないそうで、「ここで作ったから家ではもうやらなくていいね」と楽しい言葉をいただきました。



こぼれ話

ひなまつり、桃の節句、上巳の節句と様々な呼び方がある3月3日ですが、最近では「ご縁の節句」という呼び方もあるそうです。人と人のご縁に感謝する日、それは幸せの形が多様化した現代に馴染む考え方とも言えますね。そしてこの呼び名は、あうんにもぴったり当てはまると思うのです。世代や経歴を越えて楽しい時間を共に過ごせること、それは決して当たり前のことではありません。今回映える写真で新たな楽しさを体感したことで、このご縁に感謝して日々利用者さんと関わらせていただきたいと思います。